

子育て・教育・福祉部会資料

施策2-2-4 学校の教育力の向上

教育委員会事務局
令和4年5月

資料をご覧ください。上での注意事項

掲載している数値等は、5月27日（令和4年度川崎市政策評価審査委員会第1部会の開催日）時点のものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策の概要

概要 背景 取組 成果 まとめ

基本政策(1層)

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

政策(2層)

未来を担う人材を育成する

施策(3層)

学校の教育力の向上

直接目標

教職員の資質を高め、保護者や地域と連携して、よりよい学習活動(授業等)を実現する

主な事務事業

地域等による学校運営への参加促進事業

区における教育支援推進事業

地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業

教職員研修事業

教職員の選考・人事事業

学校業務マネジメント支援事業

実施計画に位置付けた成果指標

成果指標①	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)			
算出方法	市立校の全小中学生の対象学年の児童生徒の平均値 ※調査実施人数 R3 小6:約11,700名、中3:約9,000名			
指標の考え方	「家で、自分で計画を立てて勉強している」かどうかを見ることで、学びが学校内(授業)に留まらず、家庭学習を含む授業外にも波及しているか否かの効果を見ることができ、よりよい学習活動の実現に向けた取組の成果を測ることができる。			
指標の目標値	第1期策定時 58.4% (小6) 45.0% (中3) (H26)	第1期目標 59.0% 以上(小6) 45.5% 以上(中3) (H29)	第2期目標 63.5% 以上(小6) 51.0% 以上(中3) (R3)	第3期目標 64.5% 以上(小6) 51.5% 以上(中3) (R7)
目標値の考え方	H29(2017)の実績値(小6:62.6%、中3:50.3%)は、小学校・中学校ともに、H29(2017)国平均(小6:64.6%、中3:51.5%)を下回っている現状があることから、段階的に国平均の水準まで改善していくことを目標とする。 ※H29(2017)の実績値を踏まえ、目標値を変更 ・第2期: :60→63.5%(小6) 46→51%(中3) ・第3期: :61→64.5%(小6) 46.5→51.5%(中3)			

実施計画に位置付けた成果指標

成果指標②	「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)			
算出方法	市立校の全小中学生の対象学年の児童生徒の平均値 ※調査実施人数 R3 小6:約11,700名、中3:約9,000名			
指標の考え方	教職員が、保護者や地域と連携して教育活動を行うことにより、地域に開かれた、地域と共に歩む学校づくりが推進され、結果として児童生徒の地域への帰属意識、地域の一員としての自覚が高まると考えられる。そのため、地域の行事に参加する児童生徒の割合の変化を見ることで、よりよい学習活動を実現するための取組の成果を測ることができる。			
指標の目標値	第1期策定時 53.6% (小6) 31.2% (中3) (H26)	第1期目標 55.0% 以上(小6) 32.0% 以上(中3) (H29)	第2期目標 57.5% 以上(小6) 33.0% 以上(中3) (R3)	第3期目標 60.0% 以上(小6) 34.0% 以上(中3) (R7)
目標値の考え方	地域差の大きい設問であり、本市に限らず都心部では数値が低い傾向にある。そのため、当面の目標として現状の神奈川県の前年度の平均値(小6:60.9%、中3:36.9%)に近づくことをめざす。			

実施計画に位置付けた成果指標

成果指標③

「学校生活が楽しい、どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合
(川崎市学習状況調査)

算出方法

市立校の全小中学生の対象学年の児童生徒の平均値
※調査実施人数 R3 小5:約12,000名、中2:約10,000名

指標の考え方

学校の教育力が向上すれば、児童生徒が学びの価値を自ら理解し、目的を持って楽しく学校に通うことができると考えられる。学校が楽しいと思う児童生徒の割合の変化を見ることで、よりよい学習活動を実現するための取組の成果を測ることができる。

指標の目標値

第1期策定時
93.3%(小5)
89.9%(中2)
(H26)

第1期目標
93.3%以上(小5)
90.0%以上(中2)
(H29)

第2期目標
94.0%以上(小5)
90.0%以上(中2)
(R3)

第3期目標
94.0%以上(小5)
90.0%以上(中2)
(R7)

目標値の考え方

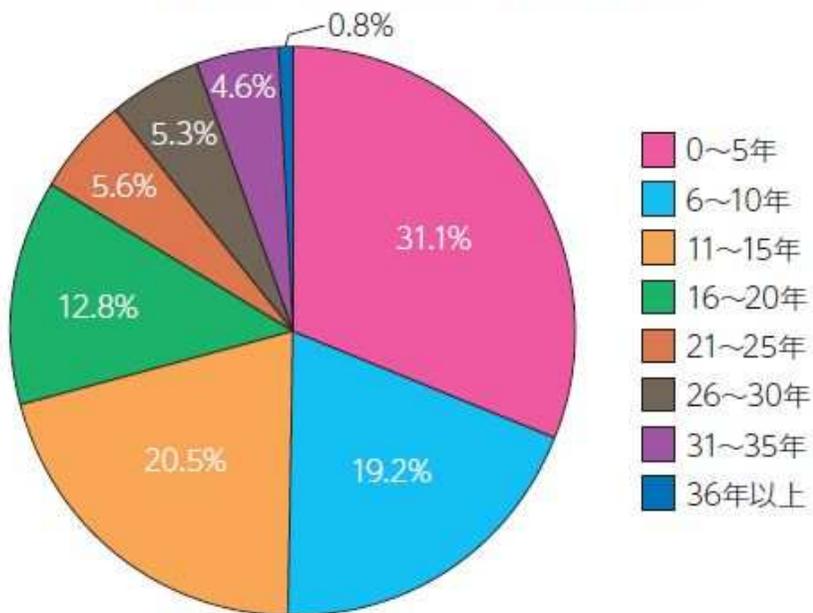
これまで、小学校・中学校ともに90%前後を推移している。相当な高水準であり、小学校・中学校ともに現状の高水準を維持していくことをめざす。

学校の教育力の向上が求められる背景

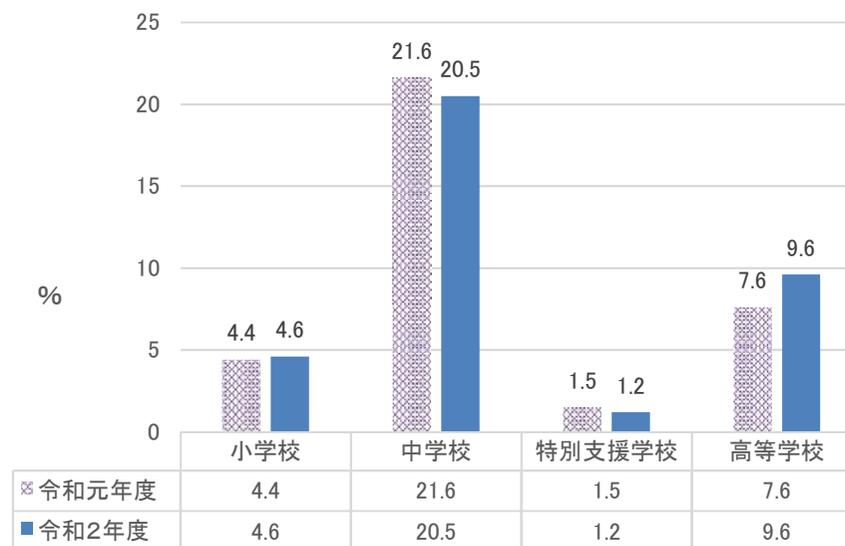
- 子どもたちが生き生きと学校生活を送るためには、教職員の資質・指導力の向上に向けた取組や保護者・地域の学校運営への参加促進が必要です。
- 大量採用によって経験の浅い教員の増加が課題となっています。また全国的にも学校現場の長時間勤務は課題となっており、引き続き優秀な人材の確保や育成に取り組むとともに、学校運営体制の再構築や、業務の効率化を進める必要があります。

学校や教職員を取り巻く現状

令和3(2021)年度 在職年数別教員の割合



1か月当たりの時間外在校等時間80時間を超える教員の割合(年間平均)



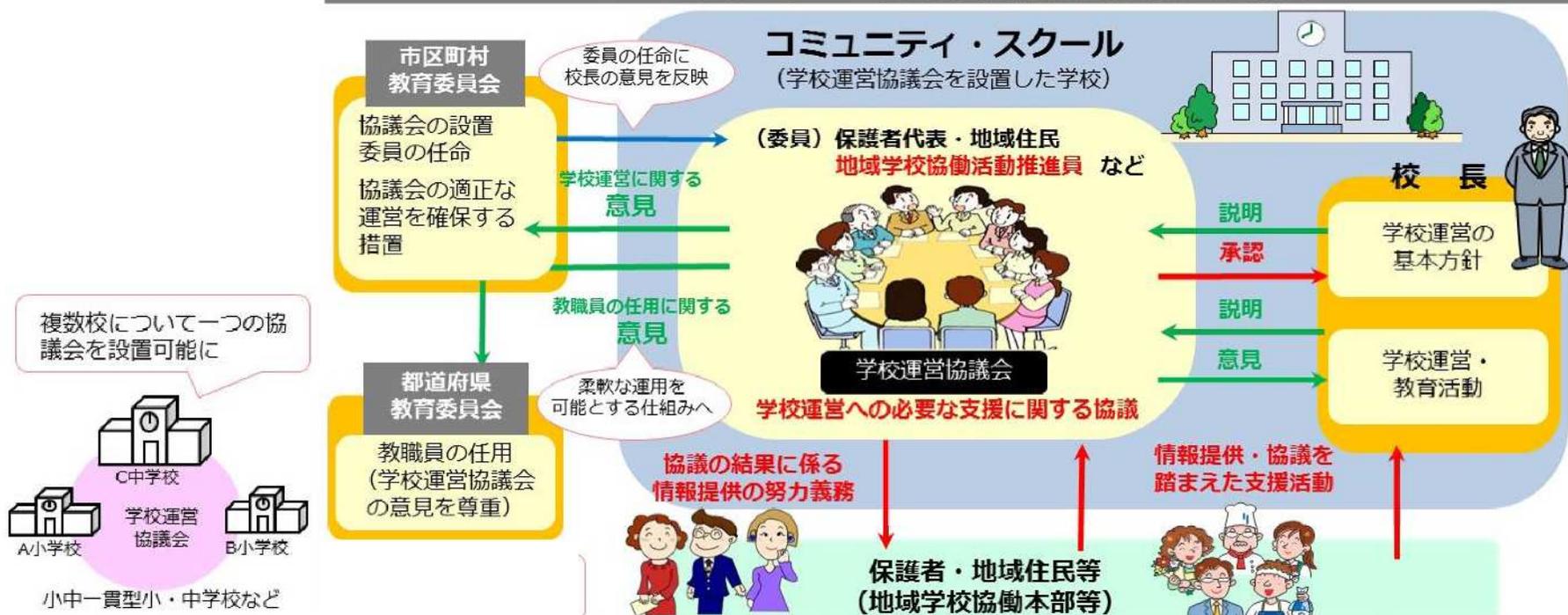
学校の教育力の向上が求められる背景【補足】

● 保護者・地域の学校運営への参加～地域に開かれた信頼される学校～

新学習指導要領で重視されている「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭や地域の人々と共に子どもを育てていくという視点に立って、地域に根ざした特色ある教育活動を行うことが求められています。

平成29(2017)年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、学校運営協議会の設置が努力義務化されました。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み 【文科省HPより】



地域等による学校運営への参加促進事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 地域住民や保護者等が学校運営に参画する学校運営協議会を設置(H30:10校、R1:15校、R2:21校、R3:28校)し、学校運営支援について協議することで、学校運営支援及び地域素材を活用した学習(SDGs、キャリア教育等)を充実するとともに、その実践の成果をコミュニティ・スクール・フォーラム等で普及・啓発し、学校・家庭・地域社会が連携した取組を推進



学校運営協議会の
会議風景



地域の
工場見学



地域との
公園清掃



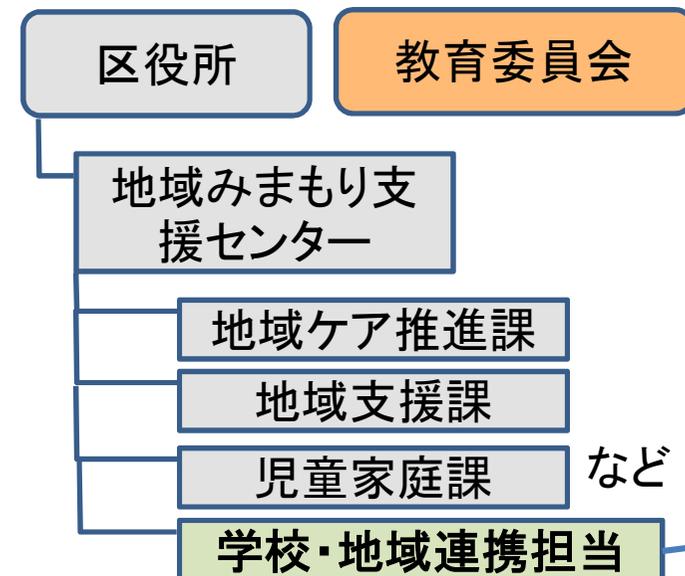
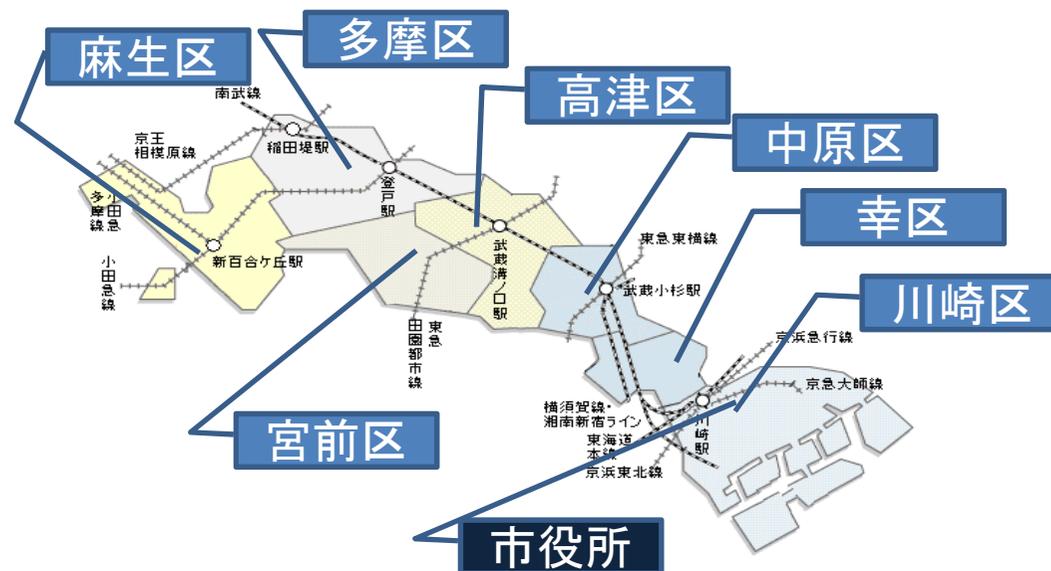
コミュニティ・スクール
フォーラム

区における教育支援推進事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 区域の全学校を対象に、区・教育担当が定期的な学校訪問、要請による訪問(新規採用教員等への指導・助言、学校評価等)及び学校の相談ニーズ(新型コロナウイルス感染症対応、緊急対応等)に応じた学校運営支援を行っています。
- 区・教育担当が、「要保護児童生徒対策地域協議会実務者会議」に参加することで、支援が必要な家庭の情報を共有し、役割を分担しながら支援を行うなど、様々な関係機関との連携強化を進めています。

区・教育担当の組織図



※効率的・効果的に各学校への支援ができるよう、区役所に区・教育担当(学校・地域連携)として、指導主事(教員職)やスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、関係機関と連絡・調整

地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 地域人材の活用を図る特色ある学校づくりの推進（「**夢教育21推進事業**」の活用：全校）
- 学校の組織的継続的な改善を図る学校評価の実施・改善（教育相談体制、GIGA端末の効果的な活用等）
- 学校教育活動の活性化を図るための学校教育ボランティアコーディネーター配置による学校活動の支援（学校図書館ボランティア活動、花壇などの環境整備等）（H30：142人、R1:142人、R2:135人、R3:137人）

夢教育21推進事業の事例



米作り体験



和太鼓体験



伝統文化を学ぶ



地域の方々を招いての中庭合唱コンサート

教職員研修事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 教員育成指標に基づく教職員の資質、指導力の向上をめざした研修（ICTを活用したオンライン研修含む）の実施（H30:322回、R1:270回、R2:144回、R3:227回）
- 教員育成指標ステージ0に基づく川崎市の教職をめざす方を対象に「かわさき教育プラン」や「学習指導」等についての講話や演習を行うかわさき教師塾「輝け☆明日の先生」の実施（H30:21回、R1:8回、R2:4回、R3:12回）



教職員研修（集合研修）



教職員研修（オンライン）



教職員研修（ICT活用）



かわさき教師塾

教職員の選考・人事業務

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 小学校において、各学校の実情に応じて指導方法工夫改善対応教員の一部を専科指導担当教員へ振り替えて配置することで、学級担任の授業時数を軽減するとともに、専門的教科指導により教育内容を向上
- 教員採用試験説明会でのオンライン活用、デジタルコンテンツの公開やSNSを活用した情報発信等の新たな取組、大学推薦、教職経験、TOEIC等の資格を考慮した特別選考等による人物重視の採用選考の実施（採用選考の倍率 H30:4.4倍、R1:3.9倍、R2:4.9倍、R3:3.8倍）
- 教科担任制の導入の一環として、中学校教員を小学校に人事異動により配置することや、特別支援学校と特別支援学級間の人事異動による専門性の確保など、学校の適性な運営の確保及び教育力の強化に向けた教職員配置を実施



学校業務マネジメント支援事業

概要 / 背景 / **取組** / 成果 / まとめ

- 効率的・効果的な学校運営体制のモデル校における試行結果を踏まえ、業務改善事例集を作成し、好事例の横展開を実施（業務改善推進校 R2:3校、R3:21校）
- 学校業務効率化等による教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針に基づく取組の実施（教職員事務支援員又は障害者就業員の配置 H30:3校、R1:28校、R2~:小中学校全166校に配置）（部活動指導員の配置 H30:3名、R1:7名、R2:22名、R3:51名）
- 学校法律相談の実施
- 各校の実情に応じた予算調整制度の運用

【取組例】

教職員事務支援員が教員に代わり、データ入力や掲示板への書類掲出などの作業、教材づくりの手伝いをすることで、教職員の事務作業の負担軽減を図っています。

教職員事務支援員
が教員の事務業務を
サポート



（データ入力業務）



（掲示物掲出業務）

- 業務の負担軽減への効果や、教職員が本来業務に専念できる時間の増加等、定性的な効果は上がっており、取組効果は表れています。

【補足】～関連する取組～

● 児童支援コーディネーターを配置

本市では、平成29年度からすべての小学校において、いじめや不登校などに悩む子どもたちを支援する教員として児童支援コーディネーターを配置しています。

コーディネーターは学級担任を持たず、専任として業務にあたっており、学校の教育力向上の一助になっています。

※施策としては2-2-2一人ひとりの教育的ニーズへの対応に位置付いています。



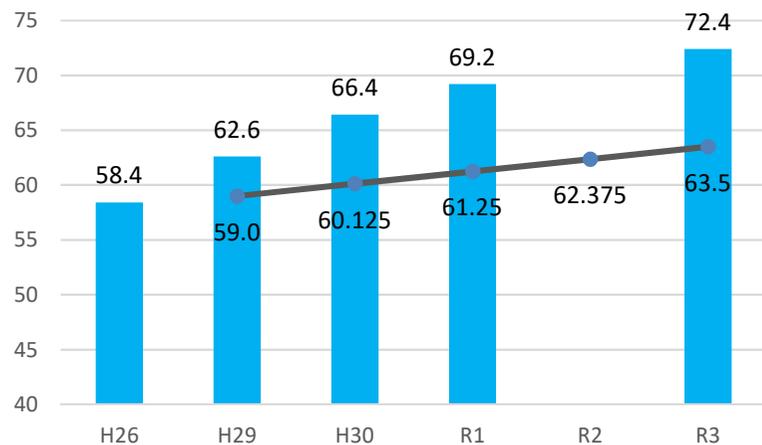
学級担任との打ち合わせ

県費負担教職員の市費移管によって市の実情にあった教職員定数・配置が可能となったため、児童支援コーディネーターを全校配置することができました。

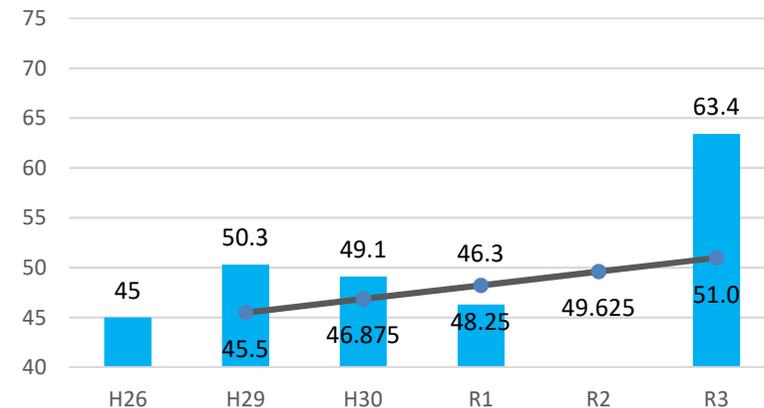
成果指標①の達成状況(目標達成)

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)

小6 単位%	第1期 策定時 (H26)	H30	R1	R2	R3
目標		60.125	61.25	62.375	63.5
実績	58.4	66.4	69.2	中止	72.4



中3 単位%	第1期 策定時 (H26)	H30	R1	R2	R3
目標		46.875	48.25	49.625	51.0
実績	45.0	49.1	46.3	中止	63.4

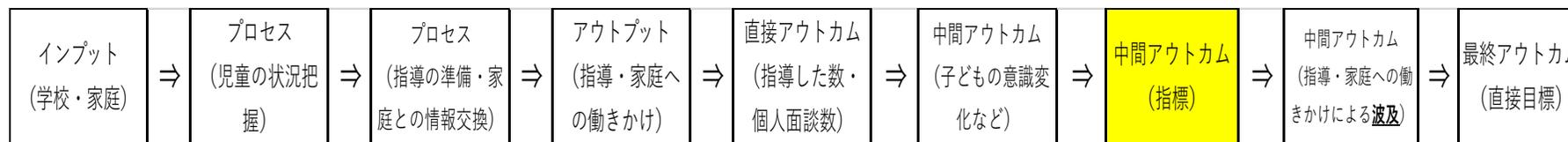


- 小学6年生、中学3年生ともに、第1期策定時(平成26年度)の実績から10%以上の上昇が確認できています。
- 令和3年度には目標値を10%以上上回っています。

成果指標①の成果分析

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)

- この指標は「学びが学校内(授業)に留まらず、家庭学習を含む授業外にも波及しているか否かの効果を見ることができ、よりよい学習活動の実現に向けた取組の成果を測ることができるもの」として設定されています。
- 小学6年生においては順調に上昇しており、中学3年生についても令和3年度に急激に改善されています。この要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業となり、タブレットを活用した学習など、家庭での学習時間が増えたことによると考えられます。
- 中学3年生は小学6年生と比較して、数値が低い傾向がありますが、学校の宿題や学校以外の学習課題に取り組むことが習慣化しており、「自分で計画を立てて」という自己評価が表れ難くなっていると考えられます。
- このように数値の上昇を歓迎しつつも、その要因の一つが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものである可能性に注意しながら施策を見つめなおしていく必要があります。
- また本指標のロジックを整理しますとインプットからいくつもの段階を経て得られる中間アウトカムであり、家庭環境や学習塾等の習い事の影響など、様々な外部性があることにも注意が必要です。

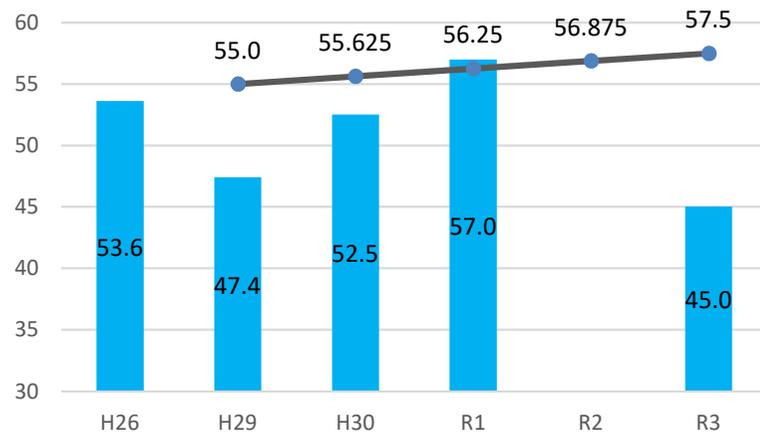


成果指標②の達成状況(目標未達成)

「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)

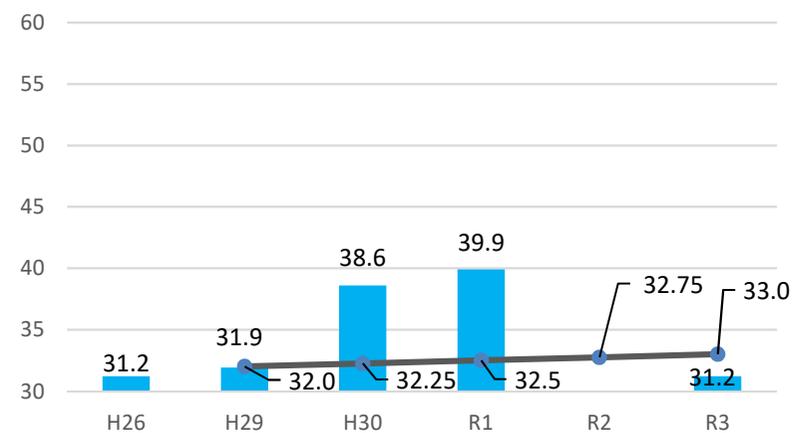
小6
単位%

	第1期策定時(H26)	H30	R1	R2	R3
目標		55.625	56.25	56.875	57.5
実績	53.6	52.5	57	中止	45



中3
単位%

	第1期策定時(H26)	H30	R1	R2	R3
目標		32.25	32.5	32.75	33.0
実績	31.2	38.6	39.9	中止	31.2

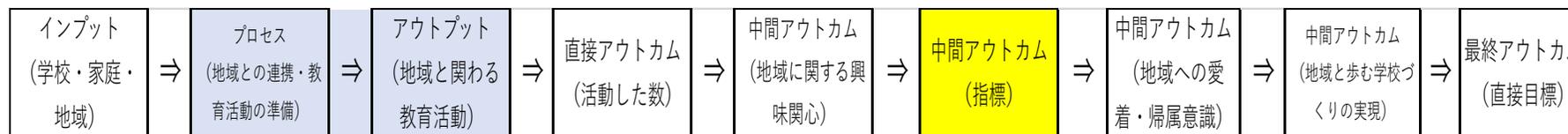


- 小学6年生、中学3年生ともに、第1期策定時(平成26年度)の実績と比較して令和元年度には改善しましたが、令和2年度の調査中止を経て、令和3年度には下落しています。
- 平成30年度(中3)と令和元年度(小6、中3)以外の年度は目標値を下回っています。

成果指標②の成果分析

「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)

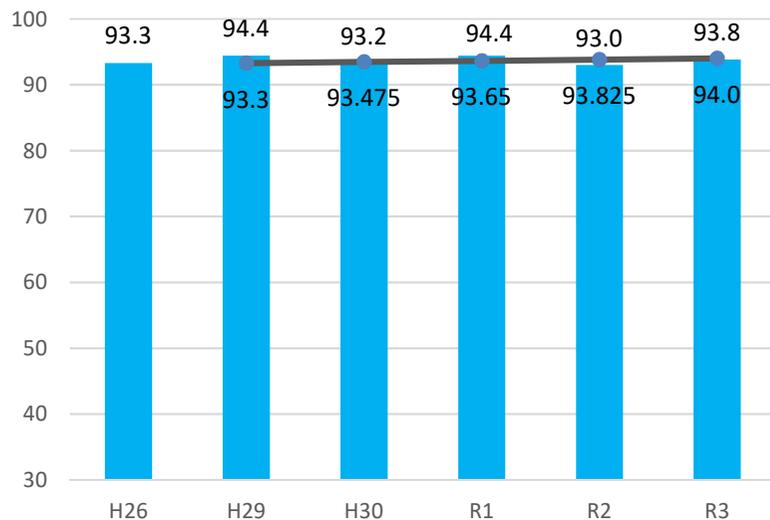
- この指標は「教職員が、保護者や地域と連携して教育活動を行うことにより、地域に開かれた、地域と共に歩む学校づくりが推進され、結果として児童生徒の地域への帰属意識、地域の一員としての自覚が高まる。そのため、地域の行事に参加する児童生徒の割合の変化を見ることで、よりよい学習活動を実現するための取組の成果を測ることができるもの」として設定されています。
- 小学6年生、中学3年生ともに目標値を上回る年度もありましたが、令和3年度に大きく下落しています。この要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響により地域の行事が中止となったことや参加の自粛が考えられます。
- また本指標のロジックを整理しますとインプットからいくつもの段階を経て得られる中間アウトカムであり、家庭環境や地域社会のソーシャルキャピタル等の影響など、様々な外部性があることにも注意が必要です。



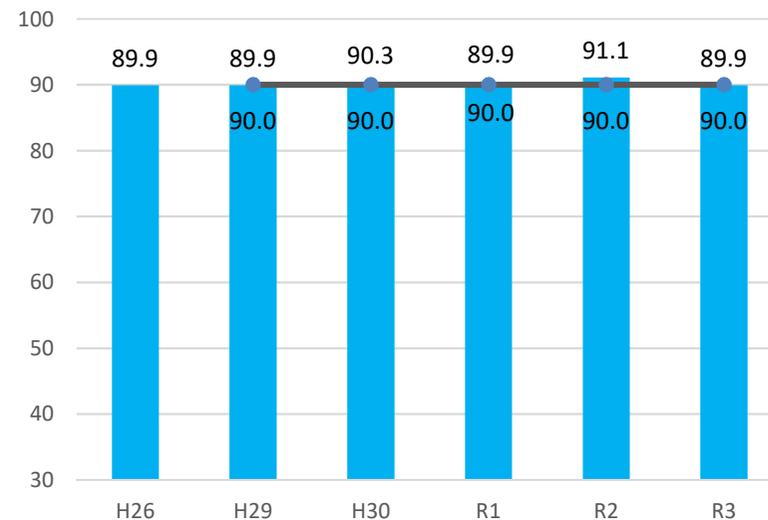
成果指標③の達成状況(目標概ね達成)

「学校生活楽しい、どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合(川崎市学習状況調査)

小5 単位%	第1期 策定時 (H26)	H30	R1	R2	R3
目標		93.475	93.65	93.825	94.0
実績	93.3	93.2	94.4	93.0	93.8



中2 単位%	第1期 策定時 (H26)	H30	R1	R2	R3
目標		90.0	90.0	90.0	90.0
実績	89.9	90.3	89.9	91.1	89.9

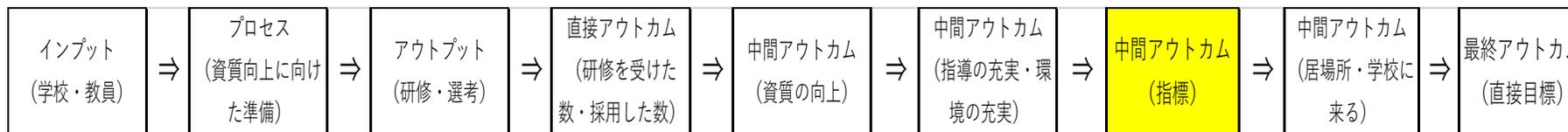


- この指標の目標値は「現状の高水準を維持していく」ものとして設定されており、90%前後の高水準を維持できています。

成果指標③の成果分析

「学校生活を楽しみ、どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合(川崎市学習状況調査)

- この指標は「学校の教育力が向上すれば、児童生徒が学びの価値を自ら理解し、目的を持って楽しく学校に通うことができる」と考えられる。学校が楽しいと思う児童生徒の割合の変化を見ることで、よりよい学習活動を実現するための取組の成果を測ることができるものとして設定されています。
- 目標値は「現状の高水準を維持していく」ものとして設定されており、90%前後の高水準を維持できています。
- また本指標のロジックを整理しますとインプットからいくつもの段階を経て得られる中間アウトカムであり、学校外の生活との相対的な比較による影響など、様々な外部性があることにも注意が必要です。
- ただし成果指標①②と異なる点は、「学校生活」そのものに対する指標であることであり、外部性の影響は最も小さい指標と考えられます。
- よって高水準を維持できていることについて、高く評価できると考えられます。



その他成果(数値で把握できる補足指標)

概要 / 背景 / 取組 / **成果** / まとめ

学校運営協議会の設置校数

- 平成18年度から学校運営協議会を設置し始めており、令和元年度には、中学校区単位での設置を行い、設置形態の事例研究も進めてきました。
- 設置校数 H30:10校 R1:15校 R2:21校 **R3:28校**

保護者や地域が学校行事の運営等に「よく参加している」と回答した学校の割合(全国学力・学習状況調査)

- 保護者や地域による学校の運営や活動への参画の状況を確認することで、家庭や地域と連携した学校の教育力を高める取組の成果を測ることができます。
- R3:**小44.3%** **中24.5%** 【第3期実施計画に新たに設定(目標値(小64.6%、中38.2%))】
※全国平均R3:小54.2% 中30.0% ※川崎市R1:小60.0% 中35.8%

学校における総合健康リスクの平均値(教育委員会調べ)

- 「総合健康リスク」は全国平均を100として、健康問題が起きる可能性を点数化したものであり、教職員の働き方・仕事の進め方改革などの施策により総合健康リスク低減に向けた取組を進めていきます。
- **R3:92.6** 【第3期実施計画に新たに設定(目標値80.0以下)】
※H30:89 R1:93 R2:89

その他成果(定性的な成果)

保護者・地域との連携

- 保護者や地域住民等が参加する学校運営協議会及び学校教育推進会議を実施することで、学校が新型コロナウイルス感染症防止の対策をしながら教育活動を継続していることや、学校運営及び学校に必要な支援についての理解が図られています。その結果、学校行事の支援として、運動会での会場パトロールや保護者入れ替えの誘導支援など、保護者や地域との連携が進み、よりよい学習活動につながっています。

教職員の資質向上

- 教職員の資質を高めるために、新型コロナウイルス感染症の防止に努めながら一人1台配布されたGIGA端末を活用し、オンライン開催するなど、ライフステージに応じた研修等を実施(H30:322回、R1:270回、R2:144回、R3:227回)したことで、教職員が学び続けることができる研修体制の構築を図りました。

教職員の負担軽減

- 教職員の負担軽減をめざして児童生徒と向き合う時間や授業準備の時間を確保するために、教職員事務支援員又は障害者就業員の配置(H30:3校、R1:28校、R2~:小中学校全166校に配置)や部活動指導員の配置(H30:3名、R1:7名、R2:22名、R3:51名)をして、学校運営体制の再構築を図りました。学校現場からは、「業務の負担軽減など効果があった」「本来業務に専念できるようになった」との声もありました。

施策の達成状況

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

施策の達成状況

B 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)

理由

- ① 配下の事務事業については、「区における教育支援推進事業」が、新型コロナウイルス感染症防止の影響で、保護者やボランティア等の学校の教育活動への参加が制限され、事業の達成度が目標を下回ったものの、いずれもほぼ目標どおり達成しました。
- ② 成果指標である「地域行事への参加」は、新型コロナウイルス感染症防止の影響で、目標値を達成することができませんでしたが、「地域等による学校運営への参加促進事業」について、学校運営協議会設置校(コミュニティ・スクール)を計画的に拡充することができ、学校運営支援の体制づくりが進んだことで、学校と家庭、地域の連携強化が進み、一定の成果がありました。また、「教職員研修事業」については、GIGA端末を効果的に活用するなど、教職員研修を改善することで、令和2年度において事業の達成度が目標を下回っていた状況が改善され、「教職員の資質を高める」という直接目標に貢献できていると捉えています。

【施策の達成状況区分】

- A 順調に推移した(目標を達成した)、**B 一定の進捗があった**(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)
C 進捗が遅れた(1期策定時を下回るものが多くあった)、**D 進捗は大幅に遅れた**(1期策定時を大幅に下回った)

施策の今後の方向性

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

今後の方向性

Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

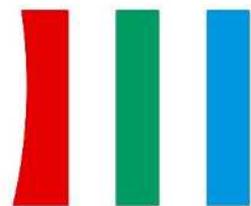
理由

- ① 新型コロナウイルス感染症防止のため地域行事がなくなり、地域住民との交流も制限され、「地域行事への参加」の指標が目標値を下回っているものの、子ども達を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化し、学校と家庭、地域との連携を強化して課題への対応を図る必要があるため、「地域等による学校運営への参加促進事業」を推進し、学校運営協議会設置校の拡充を進めていきます。
- ② 「学校業務マネジメント支援事業」については、教職員の長時間勤務の実態は依然として課題であることから、引き続き、教職員の負担軽減を図るために、部活動指導員の配置による教員の負担軽減を行うなど、教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針に基づき、総合的に方策を進めていきます。

【今後の方向性区分】

I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市